（様式1）

学校番号	43	学校名	茨城県立波崎高等学校

令和7年度道徳教育全体計画

諸法規

・日本国憲法
・教育基本法
・教育諸法規
・学習指導要領

校訓

「和衷協同」「自主自律」

生徒の実態

服装頭髪をはじめ、礼節を重んじた指導のもと比較的落ち着いている。しかし中には内面に問題を抱えている生徒もおり、生活等に表れている。自分自身も含め、人について考える習慣が不足していることが原因と考えられる。

学校の教育目標

・生徒、保護者、地域の信頼に応え、生徒の夢や希望を実現できる学校を目指すとともに、地域を愛し、地域に貢献する人材育成を目指す。
・学習活動や部活動、HR活動等の学校生活をとおして、心身ともに健やかな、社会人としての資質、素養を兼ね備えた人材育成を目指す。

保護者の願い

基本的生活習慣が確立し、礼儀作法や学問の基礎・基本を身につけた、社会の即戦力となる人材の育成。

道徳教育重点目標

〇目標に向かって、希望と勇気をもって努力しようとする態度を育てる。
〇思いやりの心をもち、誰に対しても親切にしようとする態度を育てる。
〇生命の大切さを知り、自他の生命を尊重しようとする態度を育てる。

地域の実態

地域の本校への関心や期待が高く、教育活動に対して理解を示している。

各教科・科目

国語	言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を育成することを目指す。
地歴	社会的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を育成することを目指す。
数学	数学的な見方・考え方を働かせ、数学的活動を通して、数学的に考える資質・能力を育成することを目指す。
理科	自然の事物・現象に関わり、理科の見方・考え方を働かせ、見通しをもって観察、実験を行うことなどを通して、自然の事物・現象を科学的に探究するために必要な資質・能力を育成することを目指す。
保体	体育や保健の見方・考え方を働かせ、課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けた学習過程を通して、心と体を一体として捉え、生涯にわたって心身の健康を保持増進し豊かなスポーツライフを継続するための資質・能力を育成することを目指す。
芸術	芸術の幅広い活動を通して、各科目における見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の芸術や芸術文化と豊かに関わる資質・能力を育成することを目指す。
外国語	外国語によるｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝにおける見方・考え方を働かせ、外国語によ、る聞くこと、読むこと、話すこと、書くことの言語活動及びこれらを結び付けた統合的な言語活動を通して、情報や考えなどを的確に理解したり適切に表現したり伝え合ったりするｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝを図る資質・能力を育成することを目指す。
家庭	生活の営みに係る見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を通して、様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、男女が協力して主体的に家庭や地域の生活を創造する資質・能力を育成することを目指す。
情報	情報に関する科学的な見方・考え方を働かせ、情報技術を活用して問題の発見・解決を行う学習活動を通して、問題の発見・解決に向けて情報と情報技術を適切かつ効果的に活用し、情報社会に主体的に参画するための資質・能力を育成することを目指す。
総合的な探究の時間	探究の見方・考え方を働かせ，横断的・総合的な学習を行うことを通して，自己の在り方生き方を考えながら，よりよく課題を発見し解決していくための資質・能力の育成を目指す。 ・探究の過程において，課題の発見と解決に必要な知識及び技能を身に付け，課題に関わる概念を形成し，探究の意義や価値を理解するようにする。 ・実社会や実生活と自己との関わりから問いを見いだし，自分で課題を立て，情報を集め，整理・分析して，まとめ・表現することができるようにする。 ・探究に主体的・協働的に取り組むとともに，互いのよさを生かしながら，新たな価値を創造し，よりよい社会を実現しようとする態度を養う。
専門	工業の見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を行うことなどを通して、ものづくりを通じ、地域や社会の健全で持続的な発展を担う職業人として必要な資質・能力を育成することを目指す。

特別活動

ホームルーム活動

・豊かな心、豊かな情緒、豊かな人間性を育み心身の充実と向上を図る。
・自己を確立し自己実現を図る態度を育成する。
・思いやりや相互扶助の精神を涵養する。
・生徒一人一人がホームルームや学校の一員としての自覚を持ち、協力して問題を　解決していこうとする自主的、実践的な活動を推進する。

公民科

公共

特別活動の目標との関連を図りながら、人間と社会の在り方についての見方・考え方を働かせ、現代の諸課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を育成することを目指す。

生徒指導

・制服をきちんと着る。
・時間を守る。
・失敗を繰り返さないことを心がける姿勢を作る。
・HR、部活動での礼儀指導の徹底を図る。
・集団生活での役割の徹底と自らの行動に責任を持たせる。
・保護者との密な連携を図り、問題行動等の早期発見に努める。
・各種防止講話等を通じて生徒の事故防止に努める。

家庭との連携

<PTAの学校行事への積極的な参加>
・三者面談の実施による家庭との情報交換を行う。（年2回）
・文化祭、芸術鑑賞会において、生徒や保護者との交流を図る。

<PTA広報誌を利用しての情報提供>
・PTA会報「まつかぜ」による学校行事や進学・就職情報の提供を行う。

地域社会との連携

・地域団体への協力・助言。
・ボランティア活動などへ積極的に参加する。
・上級学校との連携を通して高等在学中から系統的・継続的に専門的な知識と技術の習得をめざし、将来のより良い生活の足場にするための進路指導を行う。
・学校行事（いばらき教育月間自主事業）への地域団体参加を促す。